

2018年
3月定例会

No.167

発行日
平成 30 年 5 月 1 日



ナイスバント!?

もくじ

高齢者の外出を支援 hanica グランドパス 65 の 1 年定期代金を助成	2
平成 30 年度当初予算 総額 188 億 2,915 万円 (前年度比 1.8%減)	4
委員会の活動報告	6
会派を代表し町長に問う	9
一般質問 6 人が町の考えを問う	14

いながわ議会だより

高齢者の外出を支援

hanica グランドパス 65 の1年定期代金を全額助成



hanica グランドパス65

第389回 3月定例会

第389回定例会を2月21日から3月23日まで31日間開会し、平成30年度各会計当初予算8件、平成29年度補正予算6件、人事案件2件、条例改正16件、その他4件を審議。平成29年度一般会計補正予算は賛成多数で、その他の議案はいずれも全会一致で原案のとおり同意・可決した。このほか決議案1件を賛成多数で採択とした。

教育・文化

中学校部活動に外部指導員を配置
教員の部活動指導に係る時間軽減と、適切な指導により、技術の向上と事故やけがの未然防止のため、各校に1名の外部指導員を配置。

英語指導員 幼稚園にも派遣

平成30年度、小学校5・6学年で英語の授業が35時間から50時間に増加する分を含め、全ての英語授業と幼稚園の英語活動に、外国語指導助手を1名増員して派遣。

白金小学校を大規模改修

昨年のトイレに続き、校舎と体育館を全面改修。

つつじが丘多目的広場にトイレ設置

多くの団体が利用しているつつじが丘多目的広場に、要望の強かったトイレを整備。

健康・福祉

高齢者外出支援
運転免許証を自主返納した70歳以上の高齢者に、返納時1回に限り、阪急バス・阪神バスで利用できる「hanica」グランドパス65の1年定期代金を全額助成。20人分を予算化。

国保引き下げ

国保事業財政調整基金も活用して引き下げ。平均6%の引き下げとなる。

介護保険料は据え置き

平成30～32年度の7期介護保険料は多くの自治体で上昇が見込まれる中、本町では前期の保険料が据え置かれる。

行方不明高齢者探知GPSを貸与

認知症高齢者を介護している家族へ、位置情報システムGPSを貸与。

特定健診の対象を20歳以上に拡大

若年層の生活習慣病の

討論

議案第11号 一般会計補正予算(第4号)について
(賛成10、反対5)

決議案第1号 2025年国際博覧会の誘致に関する決議について
(賛成13、反対2)

反対
道の駅いながわアドバタイザリー業務等委託事業は、交通渋滞への懸念など、パブリックコメントや説明会で出た住民意見や課題に対して、十分な議論を尽くしたものは認められない。

反対
1、開催地は埋め立て地の中にあり、大地震、津波に耐えられない場所である。
2、建設費に前向きな企業は18%で、国民負担となる懸念がある。
3、カジノもセットの成長戦略である。

賛成
台風被害被災農業支援、白金小学校大規模改修、就学援助、心身障害者(児童)支援など、いずれも安全・安心のまちづくり、教育環境の改善、福祉のまちづくりに必要不可欠からざるもの。

賛成
新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、大阪、関西の存在感を示す絶好の機会、地域の活性化、住民生活の向上も期待できる。

高校生の提案を実現化
昨年度の高校生フォーラムで町長賞を受賞した「猪名満(肉まん)の開発」、「阿古谷グリーン



LED照明に更新

都市・産業・観光
産業拠点地区への上下水道施設を整備
産業拠点地区の事業者に対する支援策として、区域外における関連上下水道施設を整備。
道路照明灯をLEDに
道路の安全な通行及び省エネルギー化を目指し、松尾台・伏見台の道路照明灯をLED照明灯に更新。平成31年度以降も町内全箇所を順次更新。



高校生フォーラムの様子

「シリーズム」事業の実現化を推進。

大野アルプスランドに防犯カメラを設置
老朽化した展示小屋及び避難小屋の修繕に加え、天文台周辺のWiFi整備や防犯カメラを設置。

行政運営

ふるさと納税の返礼品選択に「楽天」サービスを導入
ふるさと納税者に選択肢を増やし、寄付しやすくするため、「楽天」のサービスを導入。

人事案件

本庁舎のトイレを改修
1・2階のトイレを改修し、1階は男女エリアの入れ替えを行う。

教育長

任期満了に伴う教育長の選任に同意。
中西正治 氏

固定資産評価審査委員会委員

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任に同意。
吉野智市 氏

議案等の審議結果 ※全員が賛成の議案は、表示していません。

件名	議案第11号 一般会計補正予算(第4号)	議案第1号 2025年国際博覧会の誘致に関する決議について	会派名													
			日本共産党	市民共産党	産明党	公明党	清流党	会派	クリエイティブ猪名川	いな	がわ	元	気	派に属さない議員	肥	
議員名	下坊辰雄	池上哲男	南初男	阪本ひろ子	西谷八郎治	宮東豊一	石井洋二	加藤郁子	丸山純	福井澄榮	久保宗一	下神實千代	岡本信司	中島孝雄	山田京子	肥爪勝幸
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 ※肥爪勝幸議長は採決に加わらないため「-」で表示

予防・改善のため、特定健診の対象を20歳以上の国民健康保険被保険者に拡充。

オリジナル記念撮影のコーナーを設置
結婚や出産などの大切な出来事を写真で残してもらうため、本庁舎に婚姻・出産・来町記念を背景画像とする撮影コーナーを設置。



平成30年度当初予算 総額188億2,915万円(前年度比1.8%減)

質疑

一般会計・特別会計・企業会計の各予算を
総務文教・生活建設の各常任委員会で審査。
町政全般にわたり質疑があった。

水道事業
A 現在予定しているのは、つじが丘と、パークタウン地内のマンション用地が戸建住宅に変更となった部分で、70戸程度を予定している。口径



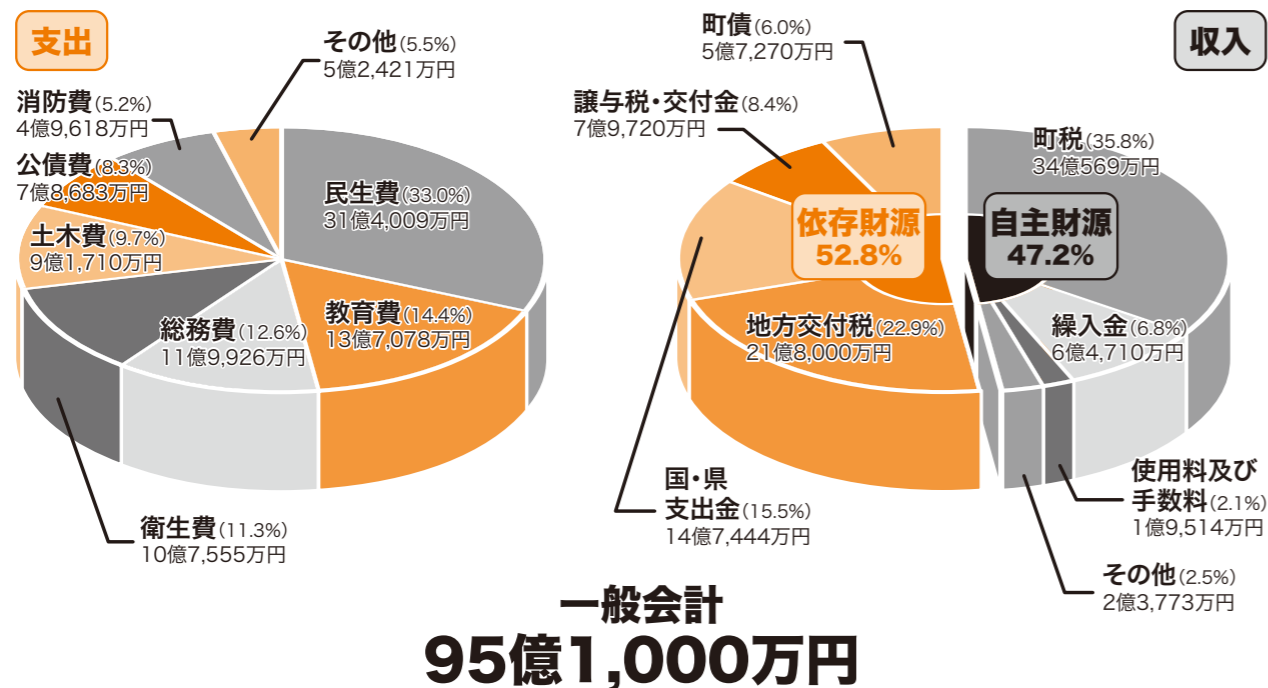
てすりの設置が一番多い

介護保険
A 住宅改修については、件数としては居宅介護住宅改修と介護予防住宅改修それぞれ96件を計上している。



白金地内の新築住宅

別分担保金は、口径に応じて異なり、一般的な住宅の20ミリで一戸あたり税込23万7600円。単価の変更はない。



税務課
A 法人税の600万円増は、どのような業種で増加を見込んでいるのか
A 平成29年度の状況をみると、建設会社や病院関係の業績がよくなっている。

総務課
A 防災対策費の備蓄食糧について、こういった食糧を何人分備蓄し何年毎に入れ替えているのか
A 備蓄食糧の保存可能期限は、食料品は5年、水は10年で、お湯や水で作る五目御飯や保存用のビスケットを備蓄している。最も大きな災害を想定し、災害発生から3日間は、他市町などからの支援供給が困難と想定しており、避難者数約2千人の3日分を備蓄している。町内12か所の備蓄倉庫のうち、毎年3か所の入れ替えを実施し、その中で4年経過したものを入れ替えている。

企画財政課
A 第六次総合計画策定に向けて、平成30年度のスケジュールは、また、総合計画審議会委員は住民から公募する予定か。
A 次期総合計画の策定に向けては、平成30年度・31年度の2か年をかけて策定作業を行う。平成30年度には、まずは委員の選定及び委嘱から開始し、審議会を2回開催予定。住民意見及びニーズの集約を行い、その後、次期総合計画に向けての計画骨子案を練り上げていく。また、総合計画審議会委員については、より多くの住民意見を聞けるような委員選考を考えているが、公募するかどうかは検討段階である。

福祉課
A 独居高齢者880人の中で緊急通報システムの普及が150台で、あまり進んでないと思うが、その実態は。
A この制度は本人要望により設置しており、引き続きこのシステムの周知に努め、安全・安心に生活できるよう、今後も取り組む。



防災倉庫



緊急通報システム

建設課
A 道路修繕費としては予算計上されていないが、道路の舗装などが傷んでいる現状で、どのような優先順位をつけて工事を行うのか。
A 様々な要望がある中で現地確認を行い、精査



都市政策課
A 空き家対策で、アンケートなども行われているが、強制的に撤去しないといけない危険な建物と、景観的に問題のある空き家は何かあるのか。
A 部分的に破損などがあるが、危険ですぐ対処しなければならない建物はない。草木が隣地に影響しているものは、所有者へその都度維持管理するよう通知している。空き家の中で、雑草や立木などが出ている所は412件中241件である。

平成30年度 会計別の予算額

会計区分	当初予算	対前年度増減 (%)
一般会計	95億1,000万円	△ 1.0
特別会計	国民健康保険	34億2,144万円 △ 11.7
	介護保険	23億386万円 6.8
	後期高齢者医療保険	7億1,211万円 6.4
	農業共済	3,858万円 △ 0.7
	奨学金	1,654万円 56.9
小計	64億9,253万円 △ 3.8	
企業会計	水道事業会計	11億801万円 1.9
	下水道事業会計	17億1,861万円 △ 0.8
	小計	28億2,662万円 0.2
合計	188億2,915万円	△ 1.8

※各会計ごとの予算額を万単位で表示しているため端数処理をしています。そのため、実際の予算額と一致しない場合があります。

- 【自主財源】 町で集めたお金
- 【依存財源】 国・県・借入金に頼ったお金
- 【緑入金】 特別会計や基金から持ってくるお金
- 【地方交付税】 行政の格差をなくすため国が交付するお金
- 【その他自主財源】 使用料・手数料など
- 【町債】 国や銀行から借りたお金
- 【公債費】 町債として借りたお金の返済など
- 【衛生費】 予防接種、健診、ごみ処理などにかかるお金

総務文教

産地パワーアップ事業の共同取り組み

2月22日、委員会を開

会し、付託3議案を審査。主な質疑は次のとおり。

平成29年度一般会計補正予算

◎ ふるさと応援寄付金の返礼経費は。また、税収の減額は。

▲ 1157万6千円の

予算内で対応。税額控除は約2800万円が減額されるが、7割強が交付税で措置される。

◎ 産地パワーアップ事業費の750万円の事業内容は。

▲ 農林水産省が先端モデル農業確立実証事業として推進。イオン水生成装置を使って、イオン水を田に入れることで稲の根が強く張り、倒伏しない実証結果が出ており、収量の増加が見込まれる。上阿古谷地域の10軒の農家が共同で継続して取り

組む。
◎ 環境監視施設維持管理に係る業務内容は。
▲ 新名神高速道路の供用開始に伴い、窒素酸化物・浮遊粒子状物質・風速の3項目を測定するもので、必要な維持管理費はネクスコが10年間負担する。
◎ ため池改修工事の受益者負担の基準は。
▲ 仁部池、前久保池、栗谷池は町が16%の負担をするが、補助金のルールにより、県営事業に対する地域の負担金は2%となっている。
◎ 文化体育事業委託料減額の経過経緯は。
▲ 自主事業の中で、当初JPOPアーティストを予定したが、日程調整などで都合がつかず、変更して実施したもので、主にその委託料の差額を

減額する。
(賛成多数で可決)
平成29年度農業共済特別会計補正予算
平成29年度奨学金特別会計補正予算
(いずれも全会一致で可決)



イオン水生成装置

3月6日、委員会を開会し、「農業共済条例の一部改正について」など付託された2議案を審査。
(いずれも全会一致で可決)

生活建設

消防本部庁舎内を女性用に一部改修

2月23日、委員会を開会し、付託4議案を審査。主な質疑は次のとおり。

平成29年度一般会計補正予算

◎ 消防団員退職報奨金の減額について、年度末にならないと報奨金対象者人数がわからないのか。

▲ 予算の時点で各分団の次年度の退職者・入団者の把握が困難なため、過去3年間の平均で予算化した。

◎ 女性消防職員採用に際し、施設整備工事費で388万8千円計上されているが、限られたスペースの中で、女性用に一部改修をして支障がないのか。

▲ 基本的に既存のスペースを改修し、既存の使用部分に関しては別のスペースでの対応を考えているため、支障はない。

◎ 児童手当が3千万円の減額になっている。これは年度末にならないとわからないものなのか。

▲ 子どもの増加を見込み、少し多めに予算化した。出生・転入の増加が想定より少なかった。

◎ 耐震化推進事業費で予定していた件数より少なかったことだが、耐震化の達成率はどのくらいか。

▲ 平成27年に耐震改修促進計画を作成。当該事業対象は昭和56年5月以前の建築物となり、耐震性がないと推定された住宅が約1800棟。この計画の作成時は、耐震化率85%。それ以外の15%は耐震化されていない。

◎ 公園の長寿命化計画において760万円の減額とあるが、その詳細は。

▲ 平成30年度に国庫補助を受けて、一体工事となるか検討した結果、地方債の適償性にそぐわないと判断し減額補正した。
(いずれも全会一致で可決)

3月12・13日に委員会を開会し、付託12議案を審査。
(いずれも全会一致で可決)

3月6日、委員会を開会し、「農業共済条例の一部改正について」など付託された2議案を審査。
(いずれも全会一致で可決)

3月6日、委員会を開会し、「農業共済条例の一部改正について」など付託された2議案を審査。
(いずれも全会一致で可決)



消防本部庁舎内を一部改修

先進地視察レポート

生活建設常任委員会

定住施策と空き家対策を学ぶ

1月15日 茨城県土浦市

空き家対策とまちなか定住促進事業として、リバースモーゲージを利用したまちなか定住促進プラン「住み替えプラン・空き家活用プラン」など先進事例を学んだ。本町も空き家対策は必須課題であり、ぜひ参考にしたい。

ひとくちメモ

リバースモーゲージ
居住者が住み続けながら自宅を担保にして利用できるローンで、欧米で普及している金融商品のこと。

移動店舗による買い物支援

1月16日 茨城県牛久市

行政といばらきコープが連携して、移動店舗で行っている買い物支援について学んだ。行政の協力があることで、のメリットや、今後の課題などの説明を受けた。本町も買い物支援は、喫緊の課題であり、大変参考になった。



牛久市

総務文教常任委員会

コミュニティ・スクール導入の必要性を学ぶ

1月22日 山口県光市

教育委員会に対する「学校運営協議会」の設置の努力義務化に対応すべく、先進地の光市においてその必要性について「地域教育力の充実」「学校だけでなく社会総がかり」「組織的・継続的な仕組み」など、事例を基に具体的な導入の在り方を学んだ。

本町教育委員会もスムーズに導入するため、

議会も学校・地域それぞれの視点に立ち取り組んで行きたい。



光市

定住促進施策について

1月23日 山口県防府市

まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付けと取り組みにより、企業誘致・サテライトオフィスの誘致など状況説明を受け、意見交換を行った。

いながわ創生対策特別委員会

アドバイザリー業務で 具体的条件設定を

2月20日、委員会を開会し、道の駅いながわ機能拡大プロジェクトに関する調査・研究をした。

①乗用車交通量（平成29年11月調査分）

②道の駅いながわ活性化基本計画に係る民間企業ヒアリングの結果

③道の駅機能拡大プロジェクトの今後の進め方の説明を受け質疑を行った。主な内容は次のおり。

宝塚北サービスエリアができるが、影響は。

A 懸念はしているが、大きな影響は発生しないとヒアリングした企業から聞いている。

◎ 参画意向を示す企業が、少なからず存在したということはどういうことか。

A 営業時間や野菜の供給の仕方など、細かい条件を示していかないと、最終的な判断は企業としてはできないということであり、アドバイザリー業務で、さらに詰めて示していきたい。

◎ 有識者会議の立ち上げはいつか。

A 新年度の早い段階で立ち上げていきたい。

◎ 野菜の供給側の意見は。

A 少し遠くなるという意見や、野菜が足りるのかという意見もある。

◎ 新名神の開通に伴い



道の駅いながわ

議会運営 委員研修会 に参加

1月18日
ホテル北野プラザ六甲荘
(神戸市)

兵庫県町議会議長会主催の議会運営委員研修会に、本町から7人が参加し、全国町村議会議長会議事調査部の横田優氏より「議会運営委員会の権限と役割」と題して、「議会が持っている権限」「議会の諸原則」「議会の運営」「本会議の運営」などについて講演を受けた。



横田 優氏の講演

先進地視察レポート

議会広報特別委員会

1月29日 宮城県利府町

利府町議会の編集方針は、「審議の結果と内容をわかりやすく、正確に住民へ伝えること」などをモットーとし、紙面ルールを決め、編集されている。第31回町議会広報全国コンクールでは「最優秀賞」を受賞している。



利府町

1月30日 岩手県金ケ崎町

金ケ崎町議会の編集方針は、「ありのままにわかりやすく」「議員の力で」などをモットーとし、編集されており、議会定例会の翌月の第1木曜日には発行するといった取り組みをされている。第31回町議会広報全国コンクールでは、優秀賞第1位を受賞している。



議会だより「かねがさき」

今回視察した両町議会では常任委員会化されており、すべての編集作業は議会広報委員会決定し運営されていた。これらを参考に当委員会として、今後の広報活動に取り組んでいく。

道の駅の南田原地区移転案の再考を



岡本 信司 議員

絆いながわ元氣

丸山 純 議員
 福井 澄 議員
 久保 宗 議員
 下神 實 議員
 岡本 千代 議員

A 南田原地区での事業の実現をめざす

町長 機能拡充では、町財政負担額の軽減は大きな課題であり、民間の資金とノウハウの導入などを検討する。交通渋滞は、十分な駐車場の確保に加え、関係機関と課題解消に向け検討していく。新名神高速道路供用後の交通量変化などは注視する。アドバイザー業務によ

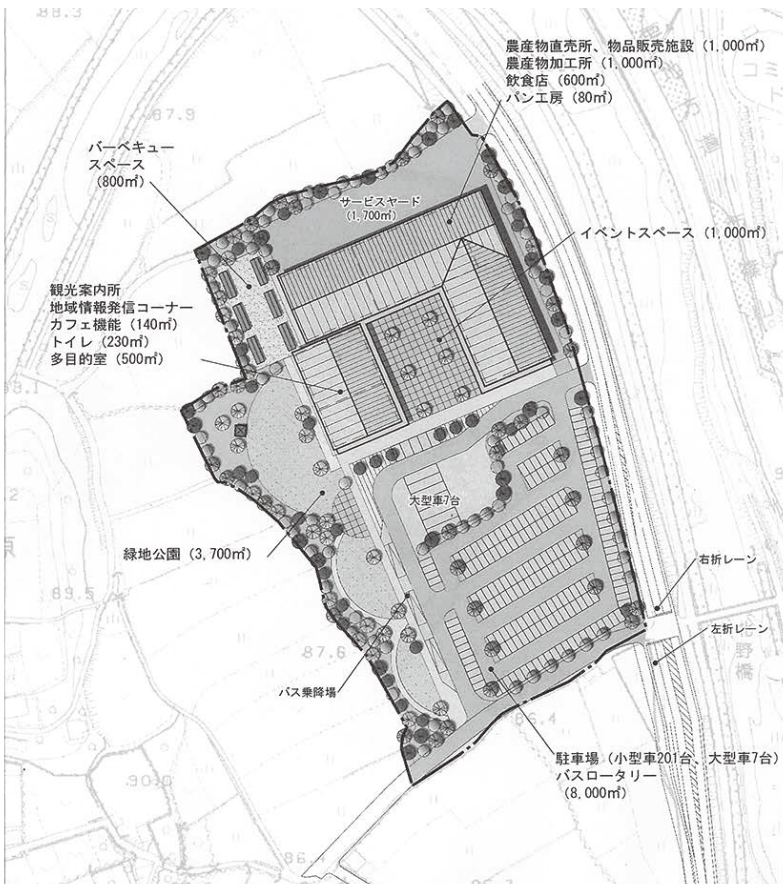
道の駅いながわの機能拡充は、交通渋滞の課題解消や防災拠点、地域公共交通の充実との整合性が必要。新名神高速道路の開通、宝塚北SAの開設など、環境の変化も予想され、現有施設での機能拡充を望む声も多し中で移転案は見直し時期に来ているのではないかと

地域の公共交通を維持していくために、どのような公共交通の利用促進、普及啓発をしてきたのか。バス事業者などが、赤字路線を廃止し、自治体が慌てているニュースを耳にする。住民は、バスの

町長 日生中央地区に隣接し、自然環境に恵まれた地域であり、若者を中心とした賑わいのある町づくりを模索している。活気ある町づくりには、地域創生の視点から、産業拠点地区の事業化を現実なものとして取り組む。文教拠点地区については、事業の実現性の検証など長期的な視点に立って、取り組みたい。

文教拠点地区のこれまでの経緯と現状、ならびに今後の進め方は。

り、民間事業者が参画できる事業とすべく、役割分担などを整理し、南田原地区における事業の実現を目指す。防災拠点などは国・県と連携していく。



移転先候補地(南田原)
 道の駅いながわ活性化基本計画(平成29年7月策定)より引用

町長 能勢電鉄沿線自治体と共同で作成したポスターの掲示や、町内小学校での教育など、公共交通利用促進に向けた普及啓発を行っている。一方で、利用者の減少や運転員不足などの理由から、全国各地で赤字路線の廃線が起こっており、町域を走るバス路線についても、路線の維持は喫緊の課題。路線の見直しや料金体系のあり方を含め、利用しやすいバス運行を交通事業者とともに継続

本数増や急行バスの整備など、実感できる充実を望んでいる。公共交通機関も住民にとって大切なインフラの一つであり、公金投入も含めた支援策が必要である。高齢者の外出支援策につながる公共交通機関の充実が必要ではないか。

校での教育など、公共交通利用促進に向けた普及啓発を行っている。一方で、利用者の減少や運転員不足などの理由から、全国各地で赤字路線の廃線が起こっており、町域を走るバス路線についても、路線の維持は喫緊の課題。路線の見直しや料金体系のあり方を含め、利用しやすいバス運行を交通事業者とともに継続

・空き家対策
 ・子育て支援
 ・道路維持補修工事他

その他の質問

して協議していく。住民生活において、公共交通の果たすべき役割は大きく、公共交通を維持していくために、利用者増や利用しやすい公共交通を目指していく。

Q 平成30年度施政方針について問う

A 住んでよかったと言えるまちづくり



南 初男 議員

南 初男 議員
南 阪本ひろ子 議員

公明党

本町の平均寿命・健康寿命が男女とも41市町で1位は町民として誇れる。継続していくことが大事と思う。新名神開通による、「多用途に成熟したまちづくり」とあるが、どのような構想か。

町長 本町は特定健診・がん検診の受診率が高く健康意識が高い。多用途に成熟したまちの伝統や文化といった先人が築いてきた歴史の中で、子育てしやすいまちづくりを進める多世代が、魅力を感じながら交流できるまちづくりに取り組み、相乗効果を発揮したい。

地域特性を活かした地域づくり、危機管理など自

町長 本町が地域性を活かして住んでよかったと言えるまちづくりの根幹となるのは自助・共助・公助の3段階の連携である。

町長 里山の保全、農業の後継者問題の対策は、自然環境を次の世代まで守ることが責務である。一方町域の8割が森林でほとんどが民有林、また、農業は後継者不足が大きな課題である。森林所有者に任せるのではなく新たな組織育成が必要。農地の担い手となる認定農業者育成や集落営農による担い手づくりに力を入れていく。

町長 「子育てするなら猪名川町」を合言葉に切れ目のない支援を行うとあり、様々なニーズに対応するプランが示されている。これらの施策の住民への周知が重要では。

町長 積極的に事業のPRを行うとともに家庭環境に特化した案内を行っ

町長 教育大綱に「幸福」を取り入れてどうか。また、「こころ豊かな教育文化のまち」実現にはふるさと意識が必要と思うが。

町長 教育の目的は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、心身ともに健康な国民の育成であり、とりもなおさず全ての人の幸福を希求するものである。ふるさと猪名川をいつまでも愛し郷土愛を基盤にして、グローバル社会の中で世界のどこにいても活躍できる人材の育成に努めていく。

町長 土砂災害特別警戒区域に指定された地域へのフォロー及び指導体制はあるのか。

町長 土砂災害特別警戒区域に指定された場合、市町によって区域から移転をする場合や、建築物を改修する場合の費用に支援などがある。住民の生命と財産を守る事業の

町長 実施を県にも要望している。住民が気軽に来庁できる公共施設が町発展につながると思うが。

町長 来庁者が気持ちよく用事を済ませ、利用しやすい公共施設を目指していく。



猪名川の里山

Q 市街化調整区域活性化における協力は

A 生活利便性向上に資する土地利用を誘導



宮東 豊一 議員

西谷八郎治 議員
宮東 豊一 議員

清流会

本町は県の市街化調整区域活性化のモデル地区になっている。中でも広根地区は先進モデルになっているが、思うように進んでいないのが現状だ。活性化は新名神高速道路開通のこのタイミングを逃してはならない。民間と民間の問題で片づけるのではなく、行政が協力・アドバイスしていくべきと考える。

町長 広根地区については、高速道路整備による波及効果を最大限活かすため、自治会と協議検討を重ね、兵庫県のモデル事業と位置付けられた中で「広根沿道地区地区計画」を決定した。これにより市街化調整区域でも

一定のルールに基づき開発が可能となった。この事業は、法的規制緩和は地域住民の意見を聞きながら行政主導で行い、規

制緩和された後は民間業者と土地所有者が事業実施する考えのもと進めてきたが、今後は住民の生活利便性向上に資する土



市街化調整区域活性化のモデル地区になっている広根大水口交差点付近

地利用を誘導していく。空き家対策については、移住・定住対策とつなげていくことも重要だが、新年度から可能になる「共生型サービス事業所」の拠点として、また、障がい者のグループホームとして利用するなど、多方面からの対策が必要だ。

町長 福祉サービスにおける空き家活用については、障がい者の高齢化が進む中で、障がい者のグループホームには親亡き後の役割を担っていくことが求められている。比較的小規模なものが多く、一般住宅を転用して整備する事例が一般的なことから、バリアフリー化などの工事費の助成制度を設け、障がい者のグループホーム設置促進に努める。また、障がい者の65歳問題から、障害福祉サービス事業所が、介護保険事業所の認可を取得しやすい制度が設けられ、共生型サービスとして位置づけられる。今後、町

内への設置に向けて法人の意向把握などに努める。

町長 障害者差別解消法が成立して5年になる。手話言語条例制定については以前から切望されてきた。施政方針の中で、法制度の変化に的確に対応する必要がある、それならば手話言語条例を制定すべき。

町長 手話言語条例制定の効果は、手話に対する正しい知識の習得促進、言語としてコミュニケーションをはかる手段であるとの認知が高まるなど期待できる。本町では、障害者総合支援法による意思疎通支援事業として、手話通訳や要約筆記のボランティア派遣、また、手話養成講座などを実施している。このことから、条例制定という理念的な対応以前に、障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の充実に努める。

Q 行財政改革における今後の課題は

A 更新を迎える公共施設の適正化が課題



石井 洋二 議員

町有地など町有資産の有効活用を積極的に行われてきたが、まだ活用できる資産はどれ位あるか、また何に使っていききたいと考えているか。

町長 使用していない普

地方における財源確保が厳しくなってきた。行財政改革における今後の課題は。

町長 課題は、過去に整備された公共施設が更新時期を迎えることから、「公共施設等総合管理計画」の基本方針である「公共施設の保有量、維持管理、施設運営それぞれの適正化」などである。より一層の行財政改革に取り組まなければならない。

町長 「総合福祉センター」及び、同センターを拠点とし活動する「社会福祉協議会」の今後のあり方は。

町長 「総合福祉センター」は、本町にあってはならない施設であるが、建築後20年以上が経過し、今後、大規模改修が必要となってくる。今後の「総合福祉センター」の役割は、民間社会福祉法人な

糖尿病や慢性腎臓病のリスク保有者で治療を必要とする人は、放置しておく人工透析治療を要する疾病となる可能性が

町長 主傷病名が慢性腎不全の人の医療費が全医療費に占める割合は、国が9.5%、県が7.0%に対し、本町は5.7%で、比較的低くなっている。本町の国民健康保険加入者で人工透析を受けている人は、22人となっている。

高い。新年度においては、民間事業者を活用し、早期の受療勧奨、及び生活習慣の改善を勧めていく。



さまざまな行政課題に取り組む猪名川町

クリエイティブ猪名川

石井 洋二 議員
加藤 郁子 議員

通財産が平成28年度末時点で約370万平方メートルある。そのうち、約3千平方メートルについては活用が可能と考えている。山林については活用が難しいが、有効活用の機会を捉え、積極的に活用を図りたい。

だが、サービス提供できない部分を積極的に担う必要があると考えている。新年度からは「総合福祉センター」「社会福祉協議会」のあるべき姿を検討していく。

高齢化が進んでいるが、本町において不足する高齢者サービスは。

町長 兵庫県が整備を促進している「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」の介護サービス事業所は、現在町内にはなく、整備が必要と考える。

人工透析にかかる医療費は、年間一人あたり400〜600万円と言われているが、健康長寿・医療費の適正化の観点から「透析の予防」が極めて重要な課題となっている。本町では「糖尿病性腎症の重症化予防」にどのように取り組むか。

Q 電車・タクシーを含む「お出かけ支援」は

A 今は考えていないが、引き続き検討する



池上 哲男 議員

下坊 辰雄 議員
池上 哲男 議員

交通弱者は免許証返納者だけではない。また、阪急バス・阪神バスに限定では、遠回りでもバスを利用しなければならぬし、阪急バスの通っていない地域の人には使えない。その上、返納時に限っているが、年月を重ねるほど外出が困難になる。全ての高齢者を対象とした電車・タクシーも含めた「お出かけ支援」に拡大する考えは。

町長 今は考えていないが、今後の高齢者の外出支援については公共交通体系のあり方を含め、引き続き検討する。

町長 ごみ当番には感謝している。近隣市では全面的に委託している例も

あるが、多くの費用が伴う。引き続き地域での協力をお願いする。現状では、ごみ当番支援サービス制度を十分に活用してもらうよう努める。



「お出かけ支援」の拡大に期待される電車・タクシー

小学校英語教育で①授業時間数増となり、子どもたちに多大な負担をおしつける②多くの教員は英語教員免許を取得しておらず、児童に十分な指導を行うことができないも

その他の質問

- ・震度計の設置
- ・障がい者福祉サービス・ペレット製造施設での障がい者雇用
- ・アドプト団体の後継者問題

「住みたい町」であつても、住むところがない。産業拠点地区に企業誘致が実現し雇用を生み出し、勤務地にはなつても町の活性化にはつながらない。住宅政策は。

町長 産業拠点地区は定住促進にもつながらず、人口増加になると考える。空き家バンク登録制度も始めており、更に調査、研究していく。

などの専門的教育、英語活動の指導経験状況は。また、授業時間を増やすことで、教師や生徒への負担増への対処は。

町長 免許取得は5人、教員の負担増は一番の課題で、①全授業にALT（外国語指導助手）を派遣し、発音や表現指導をまかせ、担任は授業の展開役に徹する②兵庫教育大学と連携で、教員の自主性とニーズに応える研修を実施。研修は好評で、負担軽減と意欲向上にもつなげている。新年度は5・6年生の授業時間が35時間から50時間と増えるが、ALTとの役割分担、絵本・CD・デジタル教材の準備、免許取得者の確保などを推進する。

Q 上野地内の歩道補修と排水路の整備は

A 道路排水工事を実施するよう調整する



下坊 辰雄 議員



自主防災の機材を使った訓練

町道差組紫合線・上野地内で昨年5月、大型通行禁止となり、今後の歩道補修工事は、また、上野大池改修工事が予定されているが、雨が降れば道路にも雨水があふれ、民家に流れ込むため、歩道補修工事と合わせ排水路の整備は。

まちづくり部長 歩道修繕が必要な場合は予算の範囲内で修繕工事を検討する。上野地内の大池付近においては、降雨時に道路へあふれて宅地に流入する箇所があるため、宅地の前に側溝を整備するなど、道路排水工事を実施するよう調整する。

消防長 訓練は、被害状況の把握・避難訓練・初期消火訓練・炊き出し訓練など。また、防災資機材などの取扱訓練など防災活動のスキルアップを図っている。

防災訓練は年1回各小学校内で取り組まれている。近い将来「南海トラフ地震」は確実に起こると言われている。今後の防災訓練はより重要であり、町民の命を守るため、町として各自治会会員への指導は、また、防災組織の役員に、防災機材を使つての訓練や指導は。

消防長 訓練は、被害状況の把握・避難訓練・初期消火訓練・炊き出し訓練など。また、防災資機材などの取扱訓練など防災活動のスキルアップを図っている。

Q 住民運動会に防災競技を取り入れては

A まちづくり協議会への情報提供を行う



阪本ひろ子 議員



担架作成・搬送ゲーム



水バケツリレーゲーム

防災運動会(まもりんピック運動会) (姫路市消防局予防課のHPより抜粋)

まちづくり協議会で行われている住民運動会に、防災の競技を取り入れてはどうか。楽しみながら防災について学べ、かつ住民の防災意識の向上につながるものと考えている。

企画総務部長 地域のネットワークづくりを通じて、防災意識を持つことは非常に有意義である。今後、まちづくり協議会に対して、防災に関する競技を取り入れるよう働きかけや情報提供を行う。

災害時の要援護者把握と避難方法は、車いすの移動対策として牽引式補助装置を配備する考えは。

企画総務部長 避難行動要支援者名簿は作成している。

「放課後子ども教室」は、現在大島小と揚津小で開催。南部地域でも需要が多く、実施に向けて働きかけが必要と考えるが。

生活部長 地域のボランティアが主となる事業であり、猪名川小学校区でも実施していたが人材の確保が難しく終了した。今後、地域との協議を進めて事業の拡大に努める。

Q 猪名川町北部の活性化施策は

A ロープウェイの設置は考えていない



福井 澄榮 議員



大野山 天文台

30年前に国から「ふるさと創生事業」として全国の自治体に、それぞれ1億円ずつ交付され、猪名川町はその内約3千万円で温泉の掘削をした。新名神高槻JCTと神戸JCT開通に伴い、猪名川町北部活性化のため、奥猪名健康の郷に源泉かけ流しの大露天風呂と、有馬温泉のように金泉・銀泉を誕生させれば、もつと魅力のある温泉になると確信するが。

地域振興部長 奥猪名健康の郷へ源泉かけ流しの露天風呂などは、非常に夢のある楽しい提案だが、兵庫県の施設なので整備

や運営内容に介入できない。大野山の天文台では火星の観測、「いながわ」という小惑星も観測でき、大阪平野、天の川も望める。老若男女の町民・観光客のために大野山へロープウェイを設置することを提案する。高校生フォーラムや観光協会からも声が上がっていると聞いているが。

地域振興部長 大野山の観光資源としての活用は、北部地域の活性化に資するものと認識している。ロープウェイの設置は考えていない。

町の考えを問う

一般質問

第389回定例会

(詳細は14～17ページをご覧ください。)

Q 認知症についての啓発活動は

A 9月に図書館へ関連コーナーを設置したい



山田 京子 議員

町職員への認知症サポーター養成講座は、自己研鑽の環境として新年度以降、養成講座に取り組みます。
生活部長 すでに認知症サポーター養成講座を受けた職員がいる施設についてはステッカーを掲示したい。また養成講座を受けた事業者へはステッカーの説明をし、県への申請用紙を配布したい。

マナーに認知症関連図書を集めた特設コーナーなど、啓発の取り組みを。
生活部長 老人大学と地域包括支援センターが連携し、認知症関連の映画上映を行った。図書館については現在認知症関連の本をまとめているが、認知症の理解を促す一環として、9月の世界アルツハイマーデーの月間に認知症関連のコーナーを設けるとともに、広報などがわでの特派員報告で、認知症に関する記事を集めるなど、より多くの人に認知症への理解が広がるよう取り組む。



認知症サポーターステッカー

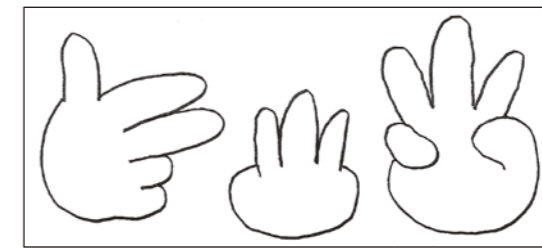


下神實千代 議員

Q 手話や外国語ができる表示バッジを

A 基準等ができた後に考えて行きたい

福祉教育とはどのようなものか。また、手話の受け入れを学校はどのよう理解しているのか。またいつ頃から導入予定か。
教育部長 福祉教育とは全ての人を個人として尊重し、思いやりの心を持って助け合う態度を育て、共に生きる人間の育成を目指すもの。児童・生徒が高齢者・外国人・独り暮らしの人など、様々な生活や生き方があることに気づき、福祉問題、福祉活動の意味や役割に関心を持つことが求められる。手話については、現在、一部の学校で行っている国語の単元や総合



相手正面から見た指文字で「しゅわ」と表現したもの

行政職員が「手話ができます」「外国語が話せます」「支援ができます」などの表示バッジやシールのようなものを付けてはどうか。
生活部長 手話・英会話などの会話能力が、どの程度でバッジを付けるのかの基準などが整理できた後に、バッジについては考えて行きたい。

いながわ 追跡調査隊 追うレンジャー
過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査した。第30回のミッションは、次の質問のその後だ!!

Q 公共交通体系を再構築する計画策定は

A 地域公共交通会議で必要性を協議する



久保 宗一 議員

公共交通の活性化のための地域公共交通会議での課題整理は。
企画総務部長 地域交通の確保の視点から利用者の減少、運転手の確保、バス路線の維持などの課題がある。
県における路線バスなどを持続可能な移動手段とするための取り組みとの連携は。
企画総務部長 阪神都市圏公共交通利用促進会議で作成する「えきバスマップ」の共同制作などがある。



公共交通の担い手となる路線バス

国の「まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの維持・発展を通じた地域の活性化」という考え方に対する見解は。
企画総務部長 阪急バス、能勢電鉄と連携し、地域課題の解消などに向け役割を果たすよう努める。
公共交通を再構築していくプロセスにおいて、将来の地域づくりに向けた計画づくりへの着手は。
企画総務部長 交通体系のあり方について地域公共交通会議の中で協議し、計画づくりの必要性についても考えたい。

現在 関西大学と地域包括連携を締結
「大学」との連携については、平成29年2月に関西大学と地域包括連携を締結し、大学が保有する多様な専門的見地を活かして、教育分野や「道の駅いながわ」における連携のほか、100万歩チャレンジ事業を始めとする健康長寿のまちづくりなどの分野で連携事業を進めており、更なるまちの活性化に取り組んでいる。

質問 平成25年3月議会
特に公的な研究機関でもある大学との連携について、町長部局での取り組みと成果は。
答弁 有用であり、今後の検討課題
個別での取り組みはあるが、十分な実績はない。

産・官・学の連携を強化すべき

人と自然の博物館へ 行ったよ

松尾台小学校四年 宮本 彩衣里



人と自然の博物館でアンモナイトのレプリカを作りました。水色とラメ入りの白のおゆまるで「リエリラス」というアンモナイトを作りました。おゆまるをのぼすのがおもしろかったです。

(三年生時の作品です)

英語で自分を変える

中谷中学校三年 米田 佳奈子



最近、外国人の方を猪名川町でも見かけるようになりました。東京オリンピックも近づき、英語が必要になってきます。猪名川町ではバララット派遣という貴重な経験ができ、私も昨年、団員として本物の英語に触れてきました。これから英語を上達させ、将来、猪名川町の魅力をより多くの外国人の方に伝えたいです。

(二年生時の作品です)

町内のインスタ映え



みなさんも議会・委員会を 傍聴しませんか

町議会では、身近な問題などを議論しています。まちづくりを一緒に考えてみませんか。傍聴の手続きは簡単です。当日、議会事務局で受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。(議場20人、委員会室10人まで)

6月定例会(本会議の日程)

- 第1日 6月8日(金)
- 第2日 6月15日(金)
- 第3日 6月22日(金)

〈常任委員会の日程〉

- 総務文教常任委員会 6月12日(火)
- 生活建設常任委員会 6月13日(水)

※いずれも午前10時から
※議事の都合により変更することがあります。

会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬総合センターで閲覧できます。また、ホームページからも本会議、各常任委員会の会議録をご覧になれます。

第166号議会たより14ページの「ごもたちの声」欄に、名前の誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

- (誤) ながたに えり 長谷 恵理さん
- (正) ながたに えり 長谷 恵里さん

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



発行 猪名川町議会
編集 議会広報特別委員会

〒666-0292
兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1
TEL072-766-8710 FAX072-766-8882